

公益財団法人 東急財団

「東急財団 美術賞」募集開始

～ 美術の分野で国際的な活躍が期待される若手アーティストと足元の地域に根ざした特筆すべき
アートの実践を通して社会の文化力向上に寄与するキュレーター等を顕彰します ～

公益財団法人 東急財団(理事長:金指 潔)は、「東急財団 美術賞」を2026年8月1日より募集します。

「東急財団 美術賞」は、東急財団の設立趣旨「優れた人材の発掘と育成、援助を通して真に豊かな社会の実現に役立つ」に基づき、美術の分野で国際的な活躍が期待される若手アーティストと、足元の地域に根ざした特筆すべきアートの実践を通して社会の文化力向上に寄与するキュレーター等を「東急財団 美術賞」として顕彰し、その作品・活動をひろく発信する機会を提供することを目的としています。

なお、本事業は公益財団法人東急財団が主催し、株式会社東急文化村の協力を得て運営していきます。

【2026年度 東急財団 美術賞 公募概要】

応募対象：美術の分野において独創性・新規性・社会性が認められる優れた活動実績を有し、将来の飛躍が期待される下記の2部門に該当する個人または団体。
日本を拠点に活動する者を対象とします。

A部門：先駆的な創作を行うアーティスト

B部門：地域の文化力向上や課題解決に取り組むキュレーター等

顕彰金：1名または1団体あたり200万円

※A部門・B部門の中から5件程度を予定しております。

※A部門・B部門ごとの件数は定めておりません。

※2027年7月に 8/COURT(渋谷ヒカリエ8階)にて授賞式を予定

展示会：A部門の受賞者は、2027年7月に Bunkamura Gallery 8/(渋谷ヒカリエ8階)にて作品を展示頂きます。

公開プレゼンテーション：B部門の受賞者は、2027年7月に Bunkamura Gallery 8/(渋谷ヒカリエ8階)にて公開プレゼンテーションをして頂きます。

応募締切日：2026年11月30日(月)23:59まで

選考委員：池田 佳穂(キュレーター)

宮永 愛子(現代美術作家)

宮本 武典(東京藝術大学 准教授、アーツ前橋チーフキュレーター)

山出 淳也(Yamaide Art Office 代表取締役)

寄本 健(東急文化村 執行役員 美術・映像事業部 事業部長)



* 詳細・応募につきましては、ホームページをご確認ください。

<https://foundation.tokyu.co.jp/>

【 公益財団法人 東急財団 芸術・文化事業について 】

東急財団の芸術・文化事業は、「人間は働くだけでなく、生活を楽しみ、豊かさを深めることに幸せがある」という五島昇(東京急行電鉄(現東急)元会長)の理念を礎として展開されてきました。その精神は、1990年に設立された五島記念文化財団、ならびに同財団が実施してきた文化事業に受け継がれています。

「五島記念文化賞新人賞」の終了を契機として、東急財団は2026度より、新たな芸術・文化事業を開始いたします。本事業では、「文化を通じて豊かな社会の構築に寄与する」という基本的な考え方を継承しつつ、顕彰事業および教育事業を柱として、次世代を担う人材の育成に取り組めます。

【 株式会社東急文化村とは 】

東急グループによる文化事業の中核的機能として、文化・芸術の創造と発信を社会との関わりの中で事業として捉え、創造する側と鑑賞する側との橋渡し役として、文化・芸術を支え、ライブ(生)の感動を伝えること、すべてのお客様に最大の満足・感動をしていただくことを目指しています。東京・渋谷にある3つの文化施設(Bunkamura、東急シアターオーブ、セルリアンタワー能楽堂)を運営。いずれの施設も会場の特徴を生かしたオリジナル企画を軸とし、良質な文化を創造し発信しています。

<https://www.bunkamura.co.jp/company/>

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 東急財団 芸術・文化事業事務局

E-mail : fineartsmusic@tkk.tokyu.co.jp